

## 第2部 活動報告

### 1. センター概要

学習支援センターは、2014年度の高度教養教育・学生支援機構の発足に伴い設立された業務センターの一つである。その前身となったのは、高等教育開発推進センターにおける「SLA サポート室」の活動（2013年度）であり、さらにはそれ以前の「全学教育学習支援プロジェクト—SLA（Student Learning Adviser）制度の実践—」（総長室付け、2010年度～2012年度）の活動が土台となっている。

#### （1）理念・使命

学習支援センターの使命には、次の3点を掲げている。

- (1) 学生の主体的・自律的な学習を、実践的に促進・支援し、研究大学で学ぶ学生が習得すべきコンピテンシーを育成する。
- (2) 初年次教育や学習支援に関する国内外の動向を調査研究し、大学における学習支援の質的向上に寄与する。
- (3) 教職員・学生の中に「学び合い」文化を醸成し、学習共同体（ラーニング・コミュニティ）の形成に寄与する。

学習支援センターの支援対象は主に学部生を対象とした全学教育（教養教育）である。特に1・2年次学生にとっては、高校教育から大学教育への移行において「学びの転換」が課題となっており、その転換を実践的に支援・促進するのが本センターの重要な役割の1つである。

本センターの学習支援の特徴は、学習支援活動の主な担い手が「SLA（Student Learning Adviser）」と呼ばれる学生スタッフであることにある。「学生による学生のための学習支援」の在り方を模索し、開発していくことも本センターの使命の一つである。

#### （2）事業

学習支援センターが行う事業は、次の4点である。

- (1) スチューデント・ラーニング・アドバイザー（SLA, Student Learning Adviser）制度の運用を基盤とした学習支援の開発・実施
- (2) 学習支援の組織開発および支援者育成システムの開発・実践
- (3) 情報還元による正課カリキュラムの改善・充実への貢献
- (4) 正課カリキュラム外における学生の自主的な学習の支援・促進
- (5) 学内外における学習支援ネットワークの構築

本センターでは、高大接続の円滑化と大学教育での「学びの転換」、そして「単位制度の実質化」に対応するため、大学初期段階での学びのスタートアップ支援を行う。研究大学における学習支援としては「リメディアル教育」に資する支援を行うと同時に、学生が学修を深化させ、あるいはより幅広い学習へと拡張していくための「レベルアップ」のための支援を開発・実施していく。